

2013年度受託研究概要報告

本州四国連絡高速道路利用 並びに 淡路SA恋人の聖地 周知度向上の為のイラスト・絵本研究

研究メンバー

久本直子 デザイン学部ビジュアルデザイン学科准教授

委託者

本州四国連絡高速道路株式会社

研究概要

1. 本州四国連絡高速道路淡路サービスエリアにある恋人の聖地の活性化と周知のキャンペーンの為に絵本（小冊子）を制作、取材からストーリー制作、本画制作を行う。
2. 本州四国連絡高速道路をより親しみをもって利用してもらうための、うちわ配布のためのイラスト制作。



研究成果

◎うちわの制作は多数のコンペ形式とし、実際に現地取材を行った上で制作。淡路以外にある高速道路に関わる各県の調査なども含め、複数名にて制作。最終的には本四高速に選定を委ねる形となった。選ばれた学生のうちわは、様々なキャンペーンと共に、神戸市内の観光案内スポットでも配布された。外部へのプレゼンであるため、どうすればわかりやすくイメージを掴んでもらえるか、について研究し、またタッチ（表現方法）についてふさわしい画材、素材を選ぶというところで学習することが出来た。

◎絵本の制作は現地取材をメインに、淡路の良さをピックアップ、ターゲット層が女性ということで表現を工夫し、依頼内容の「恋人の聖地の活性化と、女性の利用、結婚、出産率アップ」につながる研究をし、最終的にストーリーを先ず制作、それぞれが制作したストーリーに絵をつける流れとなり、本四高速の選定により一名が選ばれ、ブラッシュアップを行った。ストーリーに重きを置き、冊子であるが何か心に残る、ひっかかりのあるものをテーマに制作し、良いバランスで一般に受け入れられる絵本、のゾーン設定が各自で考えられよい結果になった。入稿のためのブラッシュアップは学生にとって困難であったが何度もやり直しながら入稿した。実際に使えるデータの精密さ、そのノウハウを学生は得たように考える。冊子も好評を得、現在も淡路SAのウェブで見ることができる。

